

平成28年度 第2回鎌ヶ谷市消防委員会会議録

- 1 開催日時
平成29年2月9日（木）午前10時00分から午前11時10分まで
- 2 開催場所
消防本部3階会議室
- 3 出席者
(1) 委員 鈴木定夫委員（委員長） 長瀬正久委員（副委員長）
小宮山節子委員 篠田利恵委員
若槻恵子委員 澁谷誠幸委員
(2) 事務局 川上英明消防団長 皆川宏幸消防長
鈴木信彦参事（事）次長（事） 消防総務課長
相川昇副参事（事） 予防課長 佐藤俊一警防課長
矢ノ目健二消防総務課主幹 松下晃通副主幹
湯浅貴朗主査補
- 4 議題
議案1 平成28年度事務事業進捗状況について
議案2 平成29年度予算（案）の概要及び事務事業について
- 5 傍聴者 なし
- 6 会議の公開 非公開について
公開

7 発言の要旨

- 消防総務課長 消防委員会条例第5条第4項による会議成立を報告、傍聴の申し出がなかったことを報告し、平成28年度第2回消防委員会会議開会を宣言した。
- 鈴木委員長 挨拶
- 川上消防団長 挨拶
- 消防長 挨拶
- 消防総務課長 消防委員会条例第5条第3項の定めにより委員長が議長を務めることを伝えた。また、会議録署名人は澁谷委員と小宮山委員であり、任期中は継続であることを確認した。
議長へ進行をお願いした。
- 鈴木議長
事務局 議案1平成28年度事務事業進捗状況について説明を求めた。
議案1平成28年度事務事業進捗状況について、職員研修、火災予防、救急救命、消防団、施設等について説明した。
- 鈴木議長
事務局 議案2平成29年度予算(案)の概要及び事務事業について説明を求めた。
議案2平成29年度予算(案)の概要及び事務事業について、常備消防費として一般人件費、消防事務に要する経費、消防庁舎の管理運営に要する経費、職員研修に要する経費、予防業務に要する経費、警防業務に要する経費、大規模災害応援に要する経費、消火栓改修事業、非常備消防費として消防団運営に要する経費、消防団装備品整備事業、消防施設費として消防車両更新事業、中央消防署改修事業、中央消防署非常用自家発電設備更新事業の内容を説明した。
なお、平成29年度予算(案)は議会議決前の要求額であり、決定されていないことを申し添えた。
- 予防課長 最近3カ年の火災状況について説明した。
- 警防課長 最近3カ年の救急出動件数、平成28年傷病程度別搬送人数の説明をした。
- 鈴木議長
篠田委員 各委員に質問を求めた。
資料7ページの警防業務に要する経費の使用料及び賃借料に、広域応援隊合同訓練用器材借上料とありますが、この広域応援隊についてご説明願います。
- 警防課長 はじめに、千葉県消防広域応援隊についてご説明申し上げます。
千葉県消防広域応援隊とは、千葉県内市町村において大規模または特殊な災害が発生した際に、地方公共団体の地域を越えて応援部隊の要請及び応援部隊の派遣を行うものです。
応援部隊の要請は、被災地市町村が知事に要請する場合と、被災地消防本部の消防長が広域応援統括消防機関である千葉市消防局に要請を行う場合の2とおりの要請方法がございます。
また、知事が消防広域応援隊の出動が必要と認めた場合にも応援部隊を出動させることができます。
部隊編成としましては、県内第1ブロックから第4ブロックの方面隊からなり、消火部隊、救助部隊、救急部隊、後方支援部隊、航空部隊、水上部隊、特別災害対応部隊で構成されており、これらの部隊から被災地の要請により出動することとなります。
この千葉県消防広域応援隊には、鎌ヶ谷市も消火隊2隊10名、救急隊1隊3名、後方支援隊1隊4名の登録を行っており、要請に応じ出動する体制を整えております。

千葉県においては出動実績は今のところございませんが、新潟県内では先日の糸魚川市の大火において、糸魚川市外から38台、175名が糸魚川市に出動しております。

次に「千葉県消防広域応援隊合同訓練」についてでございますが、毎年、県内の特定の地区に災害が発生した想定での、応援隊の要請及び応援隊の派遣を行う訓練であり、宿営訓練や災害活動時の連携訓練などを行っております。

今年度は1月20日、21日にこの合同訓練が開催され、鎌ヶ谷市からは救急隊1隊、後方支援隊1隊が参加いたしました。

長瀬委員 資料9ページに中央消防署改修事業とありますが、改修の内容について教えてください。

消防総務課主幹 ご質問の中央消防署改修事業の内容ですが、中央消防署の外壁及び手すりを改修する工事でございます。

平成29年度は、どのような工事が必要であるかを検討するため、実施設計委託費として458万6千円を要求しております。

中央消防署は、昭和45年1月に竣工後、既に46年が経過しております。平成19年度には耐震化を図るため、耐震改修工事を行いました。が、外壁と二階屋上の手摺は、ひび割れや剥離、錆などの劣化が進んでいる状況でございます。

中央消防署は、今後も継続して使用していく防災活動拠点でありますので、市の実施計画にも位置づけし、計画的に改修を進めてまいります。なお、改修工事は、平成29年度の実実施設計を行ったのち、平成30年度に実施する予定でございます。

若槻委員 感震ブレーカーについて、第1回目の委員会で感震ブレーカーの認知度が低く、啓発を進めて行くとのことでしたが、現在の普及状況を教えてください。

予防課長 感震ブレーカーの普及状況についてでございますが、今年度、消防本部では、感震ブレーカーの普及啓発を推進するため、自治会の班回覧をはじめ、ホームページや広報かまがやへの掲載、また鎌ヶ谷市総合防災訓練や消防広場では来場者へのアンケート調査を実施しました。その他に自主防災訓練、消防訓練などの各行事を通じて、広報活動と設置状況調査を実施してまいりました。

現在の普及状況といたしましては、平成28年12月1日時点で、認知度が6パーセント、設置率は3パーセントという状況でございました。

若槻委員 ただ今、感震ブレーカーの認知度が6パーセントという状況でしたが、今後の取り組みについてお聞かせください。

予防課長 今後の取り組みについてでございますが、現在の認知度や設置状況からも一層の広報活動が必要であると考え、引き続きホームページや広報かまがやへ掲載するとともに、各訓練や行事における広報活動に重点を置き、さらに婦人防火クラブ員と協働で実施している住宅用火災警報器の訪問調査時においても普及啓発に努めてまいります。

小宮山委員 住宅用火災警報器について、10年で交換が必要との啓発を行っていますが、内容について教えてください。

予防課長 住宅用火災警報器の交換についてでございますが、住宅用火災警報器は、古くなりますと電子部品の寿命や電池切れなどによりまして、正常に作動しなくなることがあり、その目安が10年でございます。

鎌ヶ谷市では、平成18年6月に新築住宅へ、平成20年6月以降は既存住宅を含むすべての住宅に設置を義務付けております。新築住宅へ

の義務付けから10年が経ちましたことから、住宅用火災警報器が正常に作動しなくなると、火災を早期に発見できず、火災が拡大し大切な財産や逃げ遅れにより命までも失われてしまう恐れがあります。このことから、消防本部では、ホームページ等への掲載や各行事を通じて、設置から10年を経過したものについては交換していただけるよう啓発をしているところでございます。

澁谷委員

消防団員が全国的に減少しているかと思いますが、鎌ヶ谷市の現在の状況についてご説明願います。

警防課長

はじめに鎌ヶ谷市消防団についてご説明いたします。

鎌ヶ谷市消防団は、消防本部、女性部、8個分団で構成され、消防団本部に団長1名、副団長2名、方面隊長3名。女性部に11名。8個分団にそれぞれ20名の配置となっており、合計177名を条例定数としております。

鎌ヶ谷市消防団の現状でございますが、ご指摘のとおり全国的に消防団員の減少が危惧されている中、鎌ヶ谷市においても新入団員の確保が難しく、平成27年度に入団要件の緩和や女性消防団員の採用を行いました。現在17名が欠員であり、消防団員の実数は160名となっております。

このため、様々な理由により退団したくても退団できない状況で団員の高齢化が進み、分団により年齢の格差が生じている状況でございます。

この対策といたしましては、広報かまがや及び市ホームページ等への消防団員募集記事の掲載、鎌ヶ谷市総合防災訓練や救急フェア等のイベントで団員募集チラシの配布など広報活動の充実を図るとともに、市役所職員並びに成人式の式典で新成人に向けて団員募集を呼びかけるなど、団員の確保に努めているところでございます。

今後、チラシを4万部、全戸配布する予定です。

小宮山委員

私は、小児を預かっている身でありますので、市内の小児病院について教えていただきたい。

警防課長

市内の小児科についてでございますが、夜間や重症、重篤である場合については、三次救急医療機関（救命救急センター）を選定して搬送する必要があります。市内にはそのような医療機関はございません。

小宮山委員

今後、市内には、小児を預かる施設が増えてまいりますことから、小児医療に対する救急体制の充実について要望いたします。

鈴木議長

議案、質問等が無く、連絡事項を求めた。

警防課長

消防委員会の参加する消防団行事（消防団辞令交付式：平成29年4月1日（土））について連絡した。

鈴木議長

議事を終了した。

消防総務課長

平成28年度第2回消防委員会会議閉会を宣言した。

8 会議録署名人の署名

以上会議経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成29年3月3日

氏名 澁谷 誠 幸

氏名 小宮山 節 子